

映像	内容
タイトル VTR	オープニングタイトル
	<p>田村： お元気ですか！市民のみなさん。麒麟の田村裕です。</p> <p>廣川： 廣川陽子です。</p> <p>田村： ということで廣川さん、ようこそ！</p> <p>廣川： おじゃまします。 今日から藤井さんのピンチヒッターとして、少しの間お手伝いさせていただきます。</p> <p>田村： なんか子供産むらしいですよ。</p> <p>廣川： 藤井さんね。お腹大きかったですね、こないだ私もお会いしましたが。 エールを送っておきました。</p> <p>田村： 一応、ロケでは何度も出てますけど、スタジオでは初めてですから 簡単に自己紹介をお願いしてもいいですか？</p> <p>廣川： 私は兵庫県出身なんですけど、吹田には学生時代にガンバ大阪の応援によく来たりだとか、会社員をしていたので、その営業で吹田を回ったりとかしていました。</p> <p>田村： どの辺りを回ってたんですか？</p> <p>廣川： 山田とか千里の辺りを回ったりしてたので、馴染みはとてもあります。</p>

田村：

出てますよ、プロフィールが。
出身が兵庫県で、趣味 ゴルフ、ランニング、自転車、ドライブ、読書、
スノーボード、スポーツ観戦、旅行。

廣川：

恥ずかしい。

田村：

「なんでも書いとけ！」ってことで。

廣川：

そうです。広く浅くなんですが、アクティブですね。

田村：

そうですね、確かに。

廣川：

いろんなことに興味があって、今の時期はピクニックしようと思ってます。

田村：

絶対、嘘や。

廣川：

ほんまですよ！ピクニックは趣味です！

田村：

絶対、嘘。

廣川：

今度、一緒に行きましょう！

田村：

行けへんわ！なんで一緒にピクニック行かなあかんのですか！

廣川：

楽しいですよ。

田村：

ピンチヒッターですが、いかがでしょうか？

廣川：

そうですね。

藤井さんも画面の向こうから応援してくださっているということですので、そのパワーをいただきながら、情報を分かりやすく楽しくお送りしたいと思いますので、視聴者の皆さん、どうぞよろしくお願いします。

田村：

なんか東京で教習所が一緒やったっていう。

廣川：

そうなんです！

私、10年前に田村さんにお会いしてて。教習所が一緒やったんです！同じ学科の授業を受けてて、教室でやっぱり目立っていらっしゃるのでお見掛けして「あっ！」と思って。

田村：

藤井さんがお休みの間、一緒に楽しんでやっていくので、よろしくお願いします。

レポーター顔出し

もうすぐ大型連休が始まりますが、皆さんは予定立てられましたでしょうか？私、伊藤さとは爽やかに世界旅行へ行って参りまーす！！と、言っても吹田市内でできる世界旅行なんですけどね。どこか知りたいですか？それは「み・ん・ぱ・く」！！今「みんぱく」が面白すぎるんです。カキーン！からの太陽の塔！

タイトル「吹田で世界旅行？みんぱくが面白すぎる」

ナレーション

小難しい博物館と思うなかれ！！吹田が誇る親しみいっばいのスポットがここにあり！今回は面白すぎるみんぱくの魅力に迫ります。

「みんぱく」こと「国立民族学博物館」は、万博公園のほぼ中央に位置しています。

「何故この場所に？」とお思いの方、実はこちらの博物館は1970年に開催された大阪万博の際、世界から集まってきた貴重な展示品を万博終了後も活用、研究できるようにと敷地内に創設された世界最大級の民族学博物館なんです。

早速、広報の伊藤さんに博物館のお話を伺いました。

レポーター：

「みんぱく」の伊藤さんです。よろしくお願いします。

伊藤玲央さん（以下：玲央さん）：

よろしくお願いします。

レポーター：

僕も伊藤っていうんですよ。

玲央さん：

僕も伊藤で偶然ですね。

レポーター：

じゃあ、玲央さんと呼ばせてください。
僕の場合は「爽やか」って呼んでください。

玲央さん：

わかりました。「爽やかさん」と呼ばさせていただきます。

レポーター：

よろしくお願いします。

民族学って簡単にいうと、どんなものなんですか？

玲央さん：

民族学というのは、世界の様々な国とか地域に暮らしている人々の文化とか社会とかを研究する。そういった学問なんです。

レポーター：

そんなに難しいことではないんですね。

ナレーション

「みんぱく」は、約5万平方メートルの巨大な展示スペースを、オセアニア、アフリカ、アジアなどの地域に分けて、暮らしや衣食住、娯楽や宗教などの多様な民族の生活や文化などを展示しているんです。

玲央さん：

身の回りにあるものを中心に展示していますので、本当に気軽に見てもらえばと思います。

レポーター：

ということは、大阪にいながらというか、ここに来れば、世界の人たちがどんなことをしているか分かるということですね。

玲央さん：

そうなんです。吹田で世界旅行ができる、そんな施設なんです。

レポーター：

それは驚きですね。

玲央さん：

はい。「みんぱく」には驚きがいっぱいなんです！

ナレーション

そうなんです！「みんぱく」には、いろんな驚きが詰まっているのです。では、ここからは驚き別にご紹介しちゃいましょう。まずは、こちら展示から。

玲央さん：

こちらをご覧ください。これはなんだと思いますか？

レポーター：

これは派手なんで、お店の看板とかですか？

玲央さん：

実は、これはお墓なんです！

レポーター：

えっ！お墓ですか？！えっ！これお墓なんですか！！
めっちゃめっちゃポップでカラフルですけど、なんでなんで??

玲央さん：

これはルーマニアにあるキリスト教の墓地なんですけど、ある職人が
亡くなった悲しみを癒そうとして、あえてユーモラスなお墓にしたんです。

レポーター：

なんかお酒飲んでません？あの人？

玲央さん：

亡くなられた方が好きだったものですか、趣味とかそれを
ああいった絵にしているんですよ。

レポーター：

僕なんかはテニスをしているところとか、カメラの前で爽やかポーズを
しているとことかいいですね！
ちょっと伊藤さん、同じ名前やから伊藤家のお墓これにしましょうよ！

玲央さん：

作っちゃいますか！

ナレーション

「驚きその1 みんなくでは世界と日本の違いに驚く！」
広い世界の中では、日本では考えられないような風習がいっぱいなんです。
このカラフルなエビの造形物一体何に見えますか？
こちらは、アフリカ ガーナ共和国の棺なんですよ！
田村さんはどのお墓が好みですか？

玲央さん：

こちらをご覧ください。これは何だと思えますか？

レポーター：

玲央さん、わかりますよ。これは獅子舞じゃないですか！
日本のお祭りのやつでしょ？

玲央さん：

はい、正解です。それでは、あちらはなんだと思えますか？

レポーター：

あれですか？あれ、ちょっと似てるけど、驚いた獅子舞じゃないですか？

玲央さん：

実はですね、これはインドネシアのバリ島から持ってきた仮面なんですよ。

ナレーション

「驚きその2 みんなくでは世界と日本の類似点に驚く！」
違う民族の中から自分たちとの共通点を見つけるのも面白いですよ。
こちらはインドネシアに伝わるバロンとランダ。
バロンは悪霊がもたらす災いから人々を守る聖なる獣なんです。
遠く離れている場所の風習にも関わらず、姿も形も似ていますよね。

玲央さん：

爽やかさん、「みんなく」にはいろいろな大きさのものがあんですけど、
大きさが皆さんが驚かれるのがこちらなんです。

レポーター：

おおっ！これは大きいですね。これ実物大ですか？

玲央さん：

はい、実物大というか実物なんですけど。

レポーター：

これ、本物なんですか？

玲央さん：

これは、チェチェメ二号と言うカヌーなんですけど、1975年に沖縄に
ミクロネシア連邦のサタウル島と言うところから3000kmかけてきた
船なんですよ。

レポーター：

えっ！これ実際に海の上を渡ってきたんですか？3000km？！

玲央さん：

3000kmです。

レポーター：

すごいですね！

こんなスケールの大きなものがあるのも、これも驚きですね！！

ナレーション

「驚きその3 みんなくではスケールの大きさに驚く！」

世界の人が暮らしの中で使用していたものなら、家や乗り物などなんでもそのまま展示しているんです。

こちらのチセという伝統的家屋は、アイヌの方の協力のもと再現したもののんですが、家まで作っちゃうなんてとにかくみんなくはスケールが大きい！

玲央さん：

次は、宗教にまつわるものを紹介したいと思います。こちらをご覧ください。

レポーター：

これは、すごい文字が浮き出てくるぐらいの迫力がありますね。

これは何ですか？

玲央さん：

はい、これはキスワというもののんですが、メッカの中心にある神殿の外壁に被せてある布なんです。

レポーター：

これは現地でもなかなか見れないというか、すごい貴重なものじゃないですか？

ナレーション

キスワには金糸、銀糸でコーランのありがたい言葉が刺繍されているんです

玲央さん：

このキスワなんですけど、1970年の大阪万博の時にサウジアラビア政府から寄贈されたものなんです。

レポーター：

サウジアラビアの方からいただいた、そんな貴重なものがここにあるって驚きですね。

ナレーション

「驚きその4 みんなくでは珍しい品々に驚く！」
こちらでは万博開催時に寄贈されたものや、太陽の塔の地下に展示するために世界中から収集された珍しい品々も展示されているのです。

レポーター：

色んなものが集まってますよね、世界中の。
あれ？田村さんおる！！あれ？今日ロケに田村さんきてます？
来てないですよ？田村さん……。

ナレーション

こちらの素朴な木彫りの人形。大きな口や細い目……
どことなく田村さんに似ていませんか？

玲央さん：

これはマレーシアの精霊増になるんですけど、みんなくでは色んな精霊像や仮面とかがあって、本当に色んな表情があるんですね。

レポーター：

ちょっとびっくりしました。木彫り顔なんですね。

玲央さん：

そうですね。

ナレーション

そして、次の驚きはこちら！
「みんなくでは展示品で体験できることに驚く！」
展示品の中には実際に触って演奏したり、乗り物に乗り込んだりできるものがあるんです。
こちらはフィリピンの小型の乗合バス「ジープニー」。
人が乗るとこんな感じになるんですよ。

レポーター：

これ、ちょっとテンション上がりますね。可愛い、可愛い。

玲央さん：

これは乗合バスになります。

ナレーション

また、こんな撮影スポットがあるので、世界旅行気分で家族やお友達と面白写真も取れるんです。これも驚きですよ！！
さらに、こんなコーナーもありました！

玲央さん：

ここは通文化展示の中の言語のコーナーになります。後ろをご覧ください。
これは「はらぺこあおむし」という絵本なんですけど
世界中の色々な言語で翻訳された「はらぺこあおむし」なんです。

レポーター：

これだけあるのもびっくりしますが、これを読んでもらう、音も出るって聞いたんですけど。

玲央さん：

実はですね、あちらにある機械で実際に音を聞くことができます。

レポーター：

お～！イッツサプライズ！！

ナレーション

それでは、世界の言語で「はらぺこあおむし」のタイトルを聞いてみましょう

(中国語、ノルウェー語、ベンガル語、スペイン語、ドイツ語)

ナレーション

さらに、世界を触るのコーナーでは、様々な民族が生活に使用している道具や素材などを、手で触って感触を確かめることができます

レポーター：

実際に触れるっていうのは良いですね。

玲央さん：

そうですね。

レポーター：

あの僕、さっきから思ってたんですけど、「食」も民族学ですよ？
そろそろその「食」の民族学のお勉強しませんか？

玲央さん：

しまししょうか！

1階のみんなぱくレストランがありますので、ご案内させていただきます。

レポーター：

ありがとうございます！いや～僕は勉強熱心ですよ～「食」は。

ナレーション

1階にある「みんなぱくレストラン」は世界の料理が味わえる

ちょっと変わったメニューが用意されているんです。

今回は世界で一番美味しい料理？！と噂されるタイの「マッサマンカレー」をいただくことになりました。

レポーター：

「マッサマンカレー」を頂きたいと思います。

香りがね、タイの雰囲気漂ってますけど、これ具沢山なんですよ。

めちゃうちゃ具沢山の。いただきます。

そんなに辛くない、でもコクがあって、これは思ってるタイカレーの味よりもっともっと上品です。

ナレーション

「驚きその6 みんなぱくでは食べて驚く！」

その美味しさにびっくりでした

レポーター：

いやあ、驚きの連続でしたよ！！

展示物が豊富なので、自分の好きなもの、例えば服が好きな人は服の分野で世界旅行ができるみたいな感じで、楽器の好きな人は楽器を見るだけでも楽しいですし、本当に飽きなくて1日楽しませてもらいました。

ありがとうございました。

玲央さん：

本当に常設展示はいっぱいの展示品がありますので、来る人来る人が楽しめるそんな博物館だと思います。

またいろいろなワクワクドキドキを体験しに来てください。

レポーター：

とりあえずですね、「みんなぱく」が面白すぎました！

廣川：

田村さん、さっき「みんぱく」懐かしいっておっしゃっていましたよね？

田村：

むちゃくちゃ懐かしいです。

小学校低学年くらいの時に行ったんちゃうかな。

なんとなく衣装のところとか見覚えある気がするんですけど、

さっき僕に似てるやつありましたけど、

あの当時はいじられてなかったんです、友達に「お前、似てるな」って。

だから、あの頃はまだ・・・、ええねん！用意せんでも！（モニター）

いじる気満々やん、俺のこと。あの当時は木彫り感は無かったので、

20代頃から木彫り感が増していったと。俺やもんね。

廣川：

こちらの展示品なんですけど、写真を撮ることもできるんですって。

ですので、田村さんを探していただいて、一緒に写真を撮ることも

出来るんですね。

田村：

そうですね。「#田村」をつけて呟いてください。

廣川：

館内が広くて、普通に歩くと5kmほどあるそうなので、

1日で見るとも大変ですよ。

田村：

良い運動になりそうですね。

廣川：

通常は水曜日が休館日となっているんですが、

GW中は水曜日も開館するということですので、春のお出かけシーズン、

気軽に海外旅行気分を味わいに「みんぱく」へ行ってみてください。

以上、特集でした。

VTR_ワンポイント手話（1分）

田村裕のすい散歩

田村：

どうも。すい散歩の時間でございます。
今回は豊津駅からはじめます。

スタッフ：

今回は、前回のJR吹田駅同様「わらしべ長者」企画で
スタートしたいと思ひまして。

田村：

またですか。バカの一つ覚え。

スタッフ：

前は絵画になりましたけども、今回はどうなるか。
今回は、こちらから。

田村：

出ました。「お元気ですか！名物 田村名刺」
では、やりましょう。

田村：

こんにちは、どちらへ行かれるんですか？

女性①：

家に帰るんです。

田村：

どこに行ってたんですか？

女性①：

ハンズに。今からパン作るので。

田村：

パン作るんやったら、そんなに楽しい休日になるんやー。
「お元気ですか！市民のみなさん」という番組を今僕がメインMCとして
半年ほどやらせてもらっているんですよ。ここにサインを入れるので。

女性①：

チョコレート。

田村：

マジですか。

チョコの甘さはあなたの心のやさしさ。

女性①：

おもしろい。

田村：

これで良いですか？ホンマに。やったー！

超有名メーカーチョコレートに早変わり。

ここはね。やっぱり100円・200円くらいのときには、
みんな気よく代えてくれますわ。

こんにちは、今 いそがしいですか？めっちゃヒマ？

男性①：

僕、吹田高校出身なんです。

たまに拝見してます。J:COMさんの番組を。

田村：

今、まさにそれです。

「お元気ですか！市民のみなさん」。流しといて、お店で。

何か貼っというて、ステッカーとか。

やった ありがとうありがとう。

このチョコを何かと交換してほしいねん。

わらしべ長者的なことで。

男性①：

ぜんぜん良いですよ。このワックスとか。

田村：

吹田高校パワー出ました。地元ならではの。

田村：

良い人でした。最高吹田市民！

順調です。1000円。1300円！？

1000円どころじゃないわ。

こんにちは、何の番組はわかる？

男性②、女性②：

J:COMしかわからん。

田村：

J:COMで麒麟 田村といえば？

3人：

せーの「お元気ですか！市民のみなさん」
イエーイ！

女性②：

何持ってるんですか？

田村：

ワックスです。

女性②：

さっきチョコレート持ってませんでした？

田村：

今、チョコレートがワックスに変わったんです。

男性②：

これはもしかして、物々交換ですか？

田村：

さすが、大阪府民は勘がするどい。
何ですか？

男性②：

寒いから、ちょうど買ったの「レモンティー」。

田村：

買ってくれたん？オレのために？
交換させてください。

田村：

ノリの良さそう。こんにちは、子ども服屋さんですか？

男性③：

個人でやってる子ども服さんはうちくらい。

田村：

あとは大手しかない。江坂・豊津かいわいで個人でやってる
子ども服屋はここ一軒。貴重！

男性③：

代えるということは、次につながりそうな良いですね。

田村：

吹田の人みんな優しい。
次のこと考えてくれる。みんな。

男性③：

マスクでも良い。これ手作りで立体になるように
作ってるやつなんで。

田村：

これめっちゃ良い。

男性③：

それじゃ。これ何個かにしましょうか。

田村：

マジですか。4つも。
手作りマスク4つにかわりました。すごいサービス精神が。

田村：

こんにちは。

女性③：

お兄さんに何かものをあげて、あれと交換してくださいって。

子ども①：

マスクと交換かー。

子ども①：

タオル。

田村：

いいの？開けて良いですか？

女性③：

いただきものなんですけど。新品です。

田村：

フォーエバートゥギャザー。

タオル！めっちゃ良いじゃないですか。

布としてはだいぶバージョンアップしました。

ありがとう。それでは、ありがたく。

タオルゲットだぜ！

田村：

え？ほら貝研究所？ここは何ですか？

男性④：

ホラを吹くところです。

田村：

嘘をつくところですか？

なるほど

これは奥深い話ですよ。

たたいて簡単に鳴るもんじゃないと。

特にほら貝なんて技術が要りますよね。

男性④

それから、あんまり下手やったら聞き苦しい。

田村

ハードルがだんだん・・・

男性

それを駄法螺（だほら）って言うねん。

田村

だほら！

重たー。こんなに重たいの？

トランペットの吹くところみたい。

男性④：

これはトランペット属。（男性④ほら貝を吹く）

田村：

吹いて良いですか？（ほら貝を吹く田村。少し音が出る。）

田村：

吹いてみたらわかる。すごさが。

（男性④ほら貝を吹く、いつもの音が出ない様子。）

男性④：

あかん。

田村：

ほら貝の講釈たれて、いかに良い音が出たら悟りが開けるか言うて
さんざんしゃべって、吹いたら「あかん！」って。

物々交換やってます。

男性④：

何ほしい？

田村：

何かと交換してください。

男性④：

そうや！ロウソクどうや。

和ロウソク。

これ小型や。大きいやつ高いよ。

田村：

これと交換してもらって良いですか。

田村：

いらない。衝撃の結末。

おしゃべりという楽しい時間は物には代えられない
掛け替えのない価値はあったのではないのでしょうか。

どこまでがホンマでどこまでがホウだったのか
わかりませんが。

いらんわー。

スタジオ

田村：

続いては、吹田の街で行われた出来事などをご紹介します
「吹田のトピックス」です。

廣川：

今回は、南吹田に新しくできた駅の話です。

ナレーション・(廣川)

3月16日、この日開通したJRおおさか東線の新しい駅として、「南吹田駅」が開業しました。

駅のデザインは「神崎川と水路の風景」がコンセプト。構内は稲穂をイメージした黄金色が配色されているほか、吹田の名産・吹田くわいなどが描かれています。

南吹田駅の開業に合わせ、その周辺の整備も実施。

「南吹田駅前線 立体交差事業」は、JR東海道本線の下を南吹田1丁目から3丁目にかけて車道2車線と自転車が通行できる歩道で結んでいます。歩道にはエレベーターや、自転車を押して上り下りできるスロープ付きの階段が設けられています。

車の通行が可能となる正午までは、車道が開放され、トンネルの通り抜けがおこなわれました。

駅前の交通広場ではこの日、駅と整備事業の完成記念式典が行われました。式典では、主催者である吹田市の後藤市長をはじめ、西日本旅客鉄道と大阪外環状鉄道の代表者がそれぞれ挨拶しました。

そして、主催者などによるテープカットを行い、駅の開業と事業の完成を祝いました。

続いて、駅前交通広場に設置されたモニュメントの除幕式が行われました。このモニュメントは、この地域で昭和初期に水路から田んぼへ水を汲み上げていた「ドンゴロス風車」がモチーフになっており、吹田くわいが描かれたガラスの水路は暗くなると流れるように発光する仕掛けです。

また、式典終了後には、地元の子どもたちによる「子どもだんじり」の巡行や、大正琴の演奏などのステージがおこなわれたほか、近隣の自治会などによる模擬店も出店され、南吹田駅と都市計画道路南吹田駅前線の完成を祝っていました。

田村：

まさかの、新駅が出来るといふ。吹田の凄さを改めて感じますけど。

廣川：

喜ばれている方多いと思うんですが、いまいち分からないという方のためにここでちょっと説明したいと思います。

こちらの地図のど真ん中、ここが新しく出来た「南吹田駅」。

今までこの辺に住んでる方が新大阪駅へ行こうと思うと、江坂駅に車か自転車で行くか、もしくは吹田駅まで行って新大阪へ行かないといけなかったんです。

それが南吹田駅が出来たことで、新大阪駅に1駅およそ3分。

田村：

良かったねー！

廣川：

もうひとつ、

道路の南吹田駅前線ですが、今まで東海道本線が南吹田を分断していたんです。線路の東側に住んでた人が、西側に行くためにはグルッと回って遠回りをしないとけなかった。

田村：

この辺に住んでて、この辺に用事があったら、こう行かなあかんかったん？もしくは、こう？便利悪かってんなー。

廣川：

それが、これ（都市計画道路南吹田駅前線）が出来たことで、スイッと。生活している方は、かなり喜ばれてるんじゃないでしょうかね。

以上、「吹田のトピックス」でした。

さて、もうエンディングのお時間になりました。

田村：

ありがとうございました。初回でしたが、どうでしたか？

廣川：

めちゃくちゃ緊張していたんですが。

田村：

そうなんですか？全然分からなかったですけど。

廣川：

ほんまですか？

やっと緊張がほぐれた時にエンディングとなりました。

田村：

これから本調子という時に。オープニングからやり直しますか？

廣川：

それはもう大丈夫です。

田村：

すいませんでした。無茶言いまして。今後ともよろしくお願いします。

廣川：

よろしくお願いします。

田村：

それでは、また次回お会いしましょう。さようなら。